

平成27年度「第39回全日本少年サッカー大会」

山梨県予選 開催要項

主 催	(公財) 日本サッカー協会 / (公財) 日本体育協会日本スポーツ少年団 / 読売新聞社
主 管	一般社団法人山梨県サッカー協会4種委員会
後 援	日本テレビ放送網 / 報知新聞社 / 山梨放送 / 山梨県教育委員会
協 賛	日清オイリオグループ / 日本マクドナルド / ゼビオ / ゆうちょ銀行 / 興和
特別協賛社	コカ・コーライーストジャパン / YKK / 花王

- 開催日 平成27年11月8日(日)・15日(日)・21日(土)予備日・28日(土)予備日・29日(日)
- 山梨県大会日程 11月 8日(日)トーナメント1日目 [小瀬球技場他] (8会場)
15日(日)トーナメント2日目 [小瀬球技場他] (4会場)
21日(土)予備日 [小瀬補助・球技場] (4会場)
28日(土)準々決勝・準決勝 [小瀬補助競技場] (2会場)
29日(日) 3位決定戦 10:00～・決勝戦 11:30～・閉会式 12:30～ [押原公園天然芝] (1会場)
- 運営担当 全地区【3日目と最終日は、役員および事業運営部員】
- 参加資格 ①日本サッカー協会4種登録済みのチームと選手であること。U-12リーグに前期及び後期の両方に参加したチームであること。
・複数エントリーは可(別紙エントリー条件参照)としエントリーフィー(¥5,000)を徴収する。
・会場確保及び運営等に協力できるチームであること。なお申し込み期限は8月31日迄とする。
②スポーツ傷害保険に加入済みの選手であること。
- 大会規則
①(財)日本サッカー協会「8人制サッカールール」による。(一部ローカルルールを適用する。)
②選手の登録は16名以内、交代は8名以内とする。ベンチ入り人数は制限しない。全試合メンバー表を試合開始30分前までに提出するものとする。再交代を適用しリエントリーを認める。交代票は使わずにピブスで代用するが、事前に主審に通知した上での交代とする。
③ベンチ入り指導者は3名までとし、試合中の指示は一人(特定ではない)が立って行く。
④ベンチサイドは、組み合わせ表の番号の小さいチームがピッチに向かって左側。
⑤選手証の提示を必要とする。大会1日目及び2日目は会場当番チームがメンバー表に記載された氏名と選手証と本人を照合(1試合目のみ、照合後直ちに返却)し、3日目と最終日は事業運営部がメンバー表・選手証と本人を照合(全試合)する。選手証に不備(不携帯、写真不貼付等)があった場合は、当該選手またはチームは試合に出場できない。
⑥退場処分または累積警告3回を受けた選手は、次の1試合出場停止とする。審判報告書を使用して次の試合の審判に申し送る。退場者の補充をすることができる。
⑦競技者の用具は、「サッカー競技規則」およびユニフォーム規定に従う。シューズは固定式ポイントとし、すね当てを着用すること。
⑧シード方式を採用する。(2015年度U-12リーグ前期Gグループの上位8チームに割り当てる。)
- 試合方法
①トーナメント方式での試合とする。
②山梨県大会の組み合わせは9月26日の評議員会で決定する。
③試合時間は20分-5分-20分とする。但し3日目以降の試合で、同点の時は5分2回の延長戦を行い、決しない場合はPK戦方式により決定する。
④試合球は4号検定皮製ボールを使用する。(3日目及び最終日は4種委員会が準備)
⑤審判は、1人の主審と2人の副審と第4の審判員で行う。参加チームは必ず2名以上帯同し、審判着を上下着用しワッペンをつける。審判証の提示を必要とする。1日目・2日目の第1試合の審判は第3試合の2チーム(分担協議)が担当し、第2試合以降は前の試合の2チーム(勝ちが主審及び第4審判)が担当する。3日目からは全て審判部が担当する。
- 上位大会への出場
①優勝チームは、全日本少年サッカー大会(8人制)への出場権を得るものとする。
- その他 ①雨天実施とする。
②会場設営、試合・閉会式の運営等は、運営担当地区の責任のもとに行う。
③会場責任者は試合結果に誤りのないことを確認の上、試合終了後直ちに下記に連絡すること

鈴木和幸(広報部長) TEL・FAX 055-251-7164

■問い合わせ先

委員長 石原幸周 090-4950-2300

大会責任者	宮下秀吉	090-3243-2581	福田和久	090-4709-8503
大会責任者	小林哲	090-8685-6502	望月一徳	090-4840-1205
大会責任者	志村祐	090-7412-7692	末木一幸	090-1500-6063
	事業運営部長	三科健二郎	090-2255-1595	

閉会式・表彰式

司会(運営担当地区)

- 成績発表 (事業運営部長)
- 表彰 (県サッカー協会、読売新聞社、日本スポーツ少年団)
- 特別協賛社賞発表・表彰 (コカ・コーラセントラルジャパン、YKK、花王、日本マクドナルド、ゼビオ、ゆうちょ銀行)
- あいさつ (県サッカー協会会長、読売新聞社甲府支局長)
- 講評 (県サッカー協会4種委員長)

全山梨県大会 大会規則<追記>

1 競技のフィールド

- ①フィールドの大きさ（タッチライン）は、68m、幅（ゴールライン）は、50mを推奨する。
（地区大会ではタッチライン 60～68m、ゴールライン 40～50mの範囲内で可能とする）
- ②その他のサイズは 11 人制と同様とする

2 競技者の数及び交代

- ①1 チーム 8 人の競技者によって行われる。チームの競技者のうち 1 人はゴールキーパーとする。
- ② 試合開始時に 8 人に満たない場合の試合は成立しない。その場合 0-5 の不戦敗とする。
- ③本大会は 4 人制審判で行うため、交代手続きはこれまで通り主審に通告し、アウトオブプレー中での交代とする。（交代ゾーンは設けない）

3 テクニカルエリア

- ①ベンチ入り選手の人数は問わないが、試合に支障が無いよう控え選手の後ろにベンチを設置する。

4 試合時間

- ①試合時間は前・後半とも 20 分間とし、ハーフタイムのインターバルは選手の休息時間を 5 分確保する。

5 PK方式

- ①山梨県大会での3日目（準々決勝以降）から勝敗が決しない場合、5 分 2 回の延長戦を行い、なお決しない場合はPK方式において決する。（両チーム 3 人ずつの競技者がキックを行ったのち両チームの得点と同じ場合は、サドンデスとなる同数のキックで一方のチームが他方より多く得点するまで交互に順序を変えることなくキックは続けられる。）
- ②PKの進行中に、ゴールキーパーが負傷してゴールキーパーとしてのプレーが続けられなくなったとき、氏名を届けられている交代要員と交代することができる。
- ③上記の例外を除いて、延長戦のある場合はそれを含めて、試合終了時にフィールドにいた競技者にのみPKを行う資格がある。
- ④試合が終了し、PKを行う前に、一方のチームの競技者が相手チームより多い場合、競技者のより多いチームは相手競技者数と等しくなるように競技者数を減らさなければならない。
チームの主将は、除外するそれぞれの競技者の氏名と背番号を主審に通知しなければならない。これによって、除外された競技者はPKに参加することはできない。

6 警告・退場

- ①競技者が退場処分を命じられた場合は、その競技者のチームは交代要員の中から競技者を補充することができる。主審は、競技者が補充されようとしている間は試合を停止する。

全少山梨県大会複数エントリー条件

- ① 日本サッカー協会4種登録済みのチームと選手であること。
- ② 2015U-12リーグに前期及び後期の両方に参加したチームであること。
- ③ 会場確保及び運営等に協力できるチームであること。
- ④ 複数エントリーのチーム数に制限はないが、1チームに2名以上の指導者を登録し、エントリー表に記載してあること。
- ⑤ エントリー表に記載された指導者及び選手が大会期間中に他のチームにまたがらないこと。またベンチ入りしないこと。
- ⑥ エントリー表は8月31日までに地区理事に提出すること。
- ⑦ エントリーフィー(5,000円)は9月26日までに地区理事に提出すること。